

高齢者医療センター、癌研有明病院などへ 都バス路線の新設・延伸・増車を！

地域等は人口急増で利用者増加、路線が新設された場合、採算面でも十分可能と考えられます。



発言する東陽地元住民

深川地域の住民から「東陽町駅と四つ目通りと豊洲駅と癌研有明病院（有明3・1・6）を結ぶバス路線の新設を都に要望する」の陳情署名が区議会に提出されています。

地下鉄8号線（住吉と東陽町と豊洲間）の延伸のメドが立っていない中、区内から癌研有明病院に行く場合、本数の少ないバスを数回乗り換え、2時間近い時間がかかります。

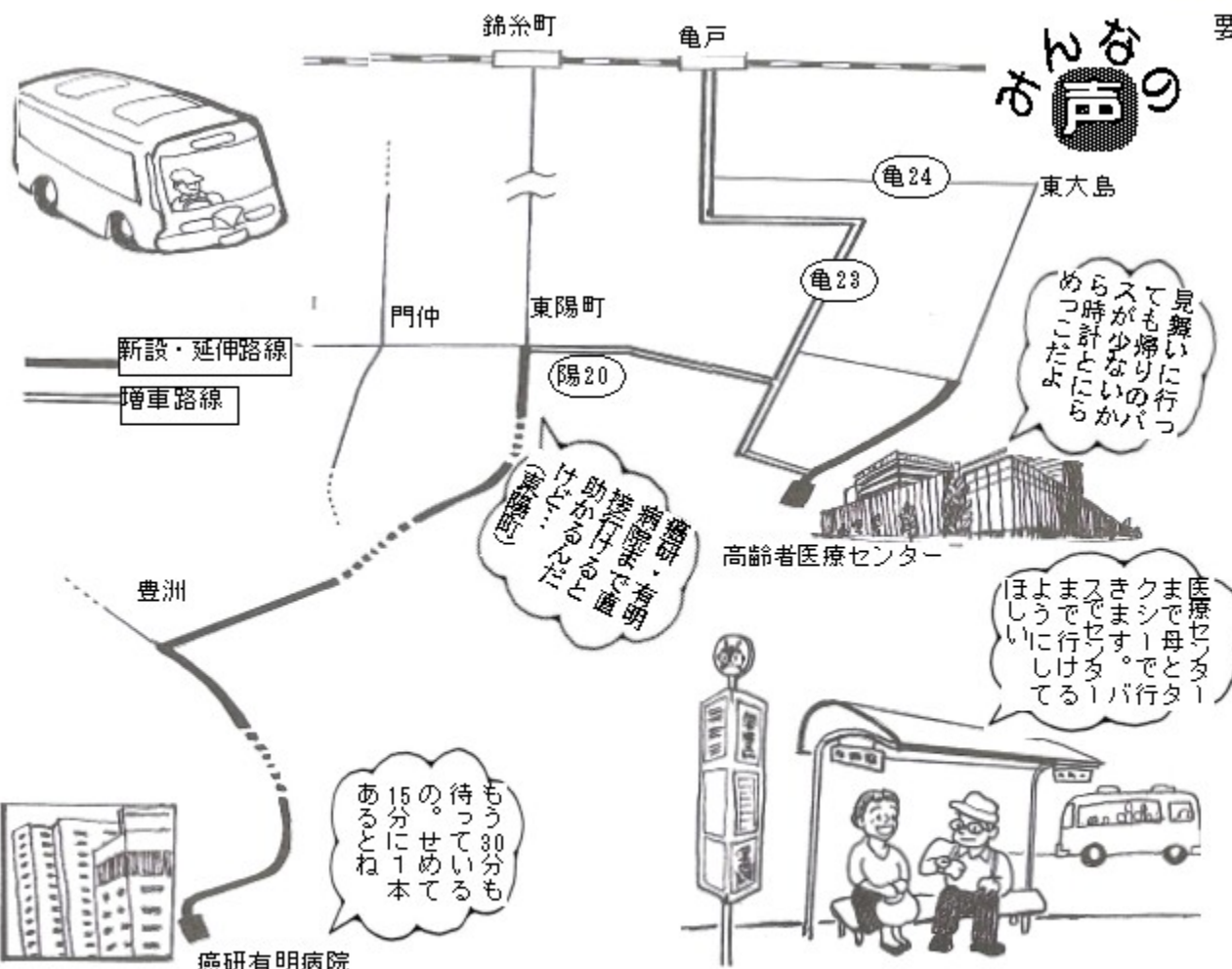
豊洲経由・癌研有明病院までのバス路線は切実な声です。

しかも豊洲

東陽町・豊洲駅・癌研有明病院を結ぶ路線の新設を



要望する赤羽目、そえや、あぜ上、斉藤、すがや各区議と参加住民



高齢者医療センター（新砂3-2-20）を利用する人が年々増えてます。

亀24

亀戸駅前から出ている亀24（亀戸駅～東大島駅～葛西橋）は、葛西橋が終点です。医療センターへの直行バスが無いので、高齢者や障害者は葛西橋からタクシーを使っています。東大島や東砂地域の住民から「路線延長」を求める署名が3870筆も寄せられています。

高齢者医療センターまで延伸と増車を

亀23

亀23（亀戸駅～北砂五公団～丸八通り～高齢者医療センター）は、平日12時から15時までは1時間に1本しか運行しません。土・日も1時間に2本だけです。

亀戸から高齢者医療センターに直通の亀23は他の路線から乗り換える人もあり、「増車して欲しい」の声が広がっています。

都政をくらし第一に

都議予定候補 **あぜ上 三和子**

8月21日、日本共産党江東区議団、住民の方々とともに都交通局に対し「都バス路線の新設と既存路線の延伸・増車を求める要望書」を提出し、その早期実現のために交渉しました。

江東区は人口が急増、高齢者も増加しているだけに都バスなど公共交通の拡充は切

実です。しかし東京都はバス停の屋根や接近予告板については計画的に進めるとしながらも、バス路線の新設、延伸・増車については「採算性重視」と消極的です。

オリンピック東京招致を取り止め、そのための巨額な予算の一部をまわせば実現できます。

私は、「都政をくらし第一に」の立場で奮闘し、みなさんと一緒に要求実現のため力をつくします。

政治を変えるチャンス!



「後期高齢者医療制度は中止・撤回を」のデモ行進



後期高齢者医療制度の撤回署名を国会へ。日本共産党・吉田としお東京15区衆院予定候補



原子力空母の配備許すな 7/13

日本共産党

みなさん
とご一緒
に頑張っ
ています



築地市場の豊洲移転に反対するあぜ上・大つき区議と吉田としお予定候補



7/25東京メトロ本社交渉。左から2人目が吉田予定候補、そえや、あぜ上、斉藤、大つき各区議

こうとう民報
2008年9月号外

発行 こうとう民報編集委員会
責任者 今井 栄一
住所 江東区亀戸7-39-1-501
電話 3648-5155 FAX 3648-5137
ホームページ <http://www.koto-minpo.jp/>

日本共産党江東地区委員会の
政策と活動をご紹介します。

国会審議で争点明確にして



市田書記局長とともに訴える吉田としお衆院15区予定候補=9/7サンストリート前

解散・総選挙を!

東京15区衆院予定候補
日本共産党・吉田としお

くらし・平和破壊の自公政権への国民の怒りに、首相は政権を投げ出しました。誰が首相になるかと、解散・総選挙で国民に信を問うことは当然です。私は、少なくとも次の点で総選挙の争点を明らかにし、国民の審判を仰ぐべきだと思います。

経済政策の軸足をくらし第一に

政府は、雇用、社会保障、税制などの改善で所得の減少や13兆円もの増税、負担増を国民に押しつけ、一方、大企業・大資産家には約7兆円もの減税など応援しました。貧困が広がり、格差が増大、自殺者が10年連続で3万人を超えるなど、国民の苦しみは極限です。

経済政策の軸足を、大企業から家計へ移す政策がいまこそ求められています。

社会保障切り捨て路線の撤回を

4月1日から始まった後期高齢者医療制度に反対する声が、党派の違いを超えて広がっています。

連続する社会保障改悪の根本には、社会保障予算の自然増を毎年2千2百億円も減らす抑制路線があります。

この路線を撤回し、国民生活優先の政治に切り替えることが求められています。

アメリカいいなりの派兵・給油を許さず

泥沼化したイラクでは多国軍の根拠である国連安保理決議が今年末で期限切れになり、米兵など輸送している航空自衛隊も派兵の根拠を失います。

アメリカいいなりでアフガンやイラクへの派兵や給油を続けていいのかが問われています。

派遣労働法を自由化前に戻せ

非正規雇用が労働者全体の三分の一、若者では二分の一を占めています。

日本共産党志位委員長の間で、首相に「日雇いという雇用の形態は好ましくない」と答弁させ、規制強化への「潮目の変化」を生んでいます。

人間らしい労働を保障するためには何が必要か、徹底した論議が求められています。

